

2022 年度

授業概要

科目名		補聴器・人工内耳			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
聴覚障害者（児）に対し、最良と考えられる補聴器の適合、評価、装用指導する為の聴能学、補聴学に基づく理論、技術を習得する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
補聴器の適合理論と方法、評価法、装用指導について。 補聴器の構造と適合に関する技術について。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
聴覚障害児、者の補助手段の中で、主として用いられる補聴器の適合と訓練方法を修得する。									
回数	講義内容								
1	聴覚障害者の実態、難聴について、補聴器の体験								
2	難聴の程度と補聴器、補聴効果、補聴器の適応								
3	補聴器の効果と限界、フィッティングの流れ								
4	フィッティングの流れ								
5	補聴器の種類・構造・特徴								
6	補聴器の種類・構造・特徴								
7	補聴器の特性測定								
8	フィッティング								
9	〃								
10	〃								
11	〃								
12	デジタル補聴器とアナログ補聴器								
13	〃								
14	補聴器装用訓練								
15	まとめ								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
なし・配布プリント		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。